# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

**大分県杵築市**

## 自治体の課題、現状

1. 少子化により、部活動ごとの所属生徒数が減少し、チームとして必要な人数の確保（チーム の存続）が難しくなっている。生徒が望むスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会の確保が難しくなることが予想される。
2. クラス数の減少に伴い、中学校に配置される教員数が減少すれば、専門的な指導を行える教員を指導者とすることが難しくなり、生徒が専門的な指導を十分受けることができなくなることが予想される。
3. 上記から、国や県の方針により令和5年度から地域展開への取組を開始した。課題として、
   ① 継続的な指導者や受け皿団体の確保
   ② 生徒移送方法、活動拠点場所の整理
   ③ 生徒、保護者、学校、地域へ周知および理解の促進
   ④ 持続可能な運営体制の構築

   があげられる。

## 地域クラブ活動等の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中学校数 | 3校 | 全生徒数 | 623人 |
| 域内の部活動数 | 33部 | 実施した地域クラブ数 | 3クラブ |
| 全体の指導者数 | 14人 | 全体の運営スタッフ数 | 18人 |
| 主な運営団体 | 総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」、スポーツ少年団 | | |
| 主な種目 | 陸上競技、サッカー、バドミントン | | |
| 平均的な活動回数 | 休日　1回/月<br>平日　1回/月 | 年間平均参加生徒実数 | 3年：14人/3クラブ<br>2年：21人/3クラブ<br>1年：17人/3クラブ |
| 参加会費 | 2,600円/月 | 主な活動場所 | 市内中学校等 |

## 取組の概要や成果

令和7年度は、部活動地域移行コーディネーター配置1年目であり、杵築市教育委員会と総合型地域スポーツクラブNPO法人「虹」が連携をスタートした実証の年であった。令和6年度から受け皿団体となった「きつきジュニアAC」の運営を参考にし、令和7年度から市内のサッカー部を地域展開した「FCKITSUKI」による地域クラブ活動を実施した。平日及び休日に、「虹」に所属する指導者が指導可能な時間帯で実施し、中体連大会をはじめとする各種大会に参加することができた。また、スポーツ少年団総会の場で中学校部活動の地域展開について周知を行い、地域の実情に応じて可能な種目からの地域展開を目指した。直ちに地域展開が難しい部活動には、スポーツ協会から外部指導者の派遣を依頼することで地域展開へつなげることとした。

引き続き総括コーディネーターを配置し、学校教育課、総合型地域スポーツクラブ「虹」、各スポーツ協会関係者と連携しながら、地域の実情に合った地域クラブ（スポーツ少年団）や「虹」を受け皿としたスポーツクラブの立ち上げ・運営を支援する。

## 運営体制図

